



高橋揆一郎さん文学忌『氷柱忌』と命名

本市出身の芥川賞作家、高橋揆一郎さんの三回忌に当たる1月31日、市民有志の実行委員会(三戸満雄委員長)により、高橋さんの業績を末永く語り継ぐ文学忌の命名式が郷土館ゆめつむぎで執り行われました。



▲命名を披露する真鍋実行委員

関係者約百人が出席して執り行われた命名式では、高橋揆一郎文学忌の名称を「氷柱忌」とする命名披露が行われました。この名称は、高橋さんが強い思い入れを持っていた作品「氷かんざし」に、貧しい家庭に生まれた少女が一杯のおしゃべりに、松葉に垂れた小さなつららを髪に挿すという場面があること、また命日が厳冬期であることになんどもです。

また式の中では、参加者の皆さんを切ない物語の世界に引き込んだ、歌志内市民劇団による「氷かんざし」の朗読劇や、高橋さんが生前会長を務め、童謡・唱歌を後世に伝える活動を行う「いろいろこの

会」の斎藤迪子事務局長をはじめとする会員の皆さんによるゆかりの歌も披露され、会場の皆さんは高橋文学に思いをはせながら聞き入っていました。その後、この日命名された「氷柱忌」を多くの人に知ってもらうための関連事業として、かもい岳スキー連盟からは、全日本スキー連盟公認のマスターズスキー大会に高橋揆一郎賞を設け、大会プログラムで高橋さんの業績を紹介したことが報告され、また、道の駅からは、きいちろうワインと漬物「氷かんざし」を販売したことも併せて報告されました。そしてチロルの湯からは、高橋さんが指定して

使った214号室に、ゆかりの部屋であることの表示と著書の「観音力疾走」及びイラスト集を常設したことも出席者に紹介されました。

式の終わりに、遺族を代表して高橋驍さんが「揆一郎がこれほどまで愛されているのだと痛感しました。今後北海道文学としての高橋揆一郎の遺産を、協力者として提供していきたいと思えます」とあいさつされました。

氷柱忌

ねむいふか
おひさまが照らすよだ
「たたら
氷かんざし」取ってきて
あげようか
ねま吉

▶東地松亭さんによる「氷柱忌」題字



▲あいさつをする高橋驍さん

■文学忌とは
作家の命日を、ペンネームや代表作などにちなんで名付け、その文学的な業績をしのぶ日としたものです。

平成22年 4月 歌小と西小は、歌小校舎に統合します

1月28日に開催された第1回臨時市議会において、歌志内小学校と西小学校を統合して、使用校舎を歌志内小学校とする「歌志内市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について」が可決されました。

これにより、平成22年4月1日から本市の小学校は1校となります。

〈学校教育グループ ☎ 42222233〉

統合までの経緯

平成19年3月、小学校の現状と今後の児童数の見込みなどについて保護者説明会を行い、統合などに関するアンケート調査を実施した結果、回答した世帯の9割が小学校の統合に関心を持ち、そのうち85%の方が統合すべきであると回答しました。

教育委員会ではこの結果を重く受けとめ、市民の皆さんの意見を聞きながら検討を進めるため、同年7月に「歌志内市小学校適正配置検討会議」を設置し、小学校統合などについての諮問を行いました。

検討会議では、10回にわたる会議と、保護者や一般市民に対する両小学校での説明会を実施して意見集約を行い、同年12月に教育委員会に対し検討結果を答申しました。

これを受け教育委員会では、平成20年1月に4回の教育委員会を開催し、答申内容を尊重しながら慎重な審議を重ね、平成22年4月を目途に両小学校を統合すること、使用校舎については諸般の状況をじゅうぶん見極め、引き続き慎重に検討することを確認しました。

平成20年12月の臨時教育委員会では、統合校舎を歌志内小学校とすることなどを決定

し、教育委員会から学校の設置者である市長に対し「歌志内市の小学校統合等に係る報告書」を提出しました。

そして本年1月、小学校を統合するための学校設置条例改正案が市議会でも可決されたものです。

今後は、平成22年4月の小学校統合に向け、歌志内小学校と西小学校の児童が心を通わせ新たなスタートを切る事ができるよう、既に両小学校に設置されている統合準備委員会では、平成21年度に行う両小学校の交流事業や統合後の教育課程の検討が行われます。

また、統合校の校名や校歌、

校章の検討を行うための検討委員会も立ち上げることとしています。

歌志内市における 小中学校整備の歴史

本市には現在、小学校2校と中学校1校があります。これは、昭和51年に策定された「歌志内市小中学校整備再編成にかかる基本計画」に基づいて配置されたものです。

当時市内には、小学校5校と中学校2校がありました。が、全市的視野に立って昭和53年から本格的に小中学校の整備再編が進められました。

昭和54年には、神威小学校

と文珠小学校が「西小学校」として統合。続いて昭和57年には、神威中学校と歌志内中学校が「歌志内中学校」として統合されました。

さらに、昭和56年に上歌小学校が歌志内小学校に統合。その後、昭和59年に歌志内小学校と中央小学校が「歌志内小学校」として統合し、現在の学校配置となりました。

今後は、本年4月に中学校を旧歌志内高校校舎へ移転するのをはじめ、今回議決された歌志内小学校と西小学校の統合について平成22年4月に実施することで、本市の学校配置を小学校1校、中学校1校とするものです。

